

ずっとひとりだったりようくんが、
やっと誰かに、大人に、
自分の気持ちを素直に見せられるようになったんだ。

こんなやり方しかできないのが情けない。
けど、最大限りようくんを労って、優しさで包み込める方法はこのぐらいしか思い
つかない。
大人になると、こんな方法でしか他人へ愛情表現できなくなってしまうものなのかな。

こんな無防備な顔、今までの人たちは見たんだろうか。

私だけが知っていたらと、不確実な優越感でたまらなくなる。

自分のことで精一杯なはずなのに、こちらのことまで気を遣うところがいじらしい。

こんな良い子は、大事にされるべきなのに。
どうして。

りようくんの熱を帯びた吐息と声とが耳にかぶさる。
この前はお互いチグハグなまましてしまったけど、今日は違う。
今日はお互いがお互いを貪りあって、確かめ合って、求めあって、探り合っている
感じがする。

精一杯生を味わっているのが、私だけでなければ良いなと願った。